



ツーリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西

ブースグランプリ&大阪・関西エリア



瀬戸内地域の中四国5県が一丸となり、体験を中心としたアイデア溢れる展示空間も演出されたブース構成が評価されました



業界日の投票でグランプリに輝いた「ワンドフル セトウチ／DISCOVER WEST 連携協議会」のブースは、一般日の投票でも準グランプリを受賞しました



道内各地のワインやチーズなどの試飲試食ができる「HOKKAIDO BAR」など工夫を凝らしたブースの演出が注目を集めました



一般日の投票でグランプリを獲得した「北海道観光振興機構／JR北海道」のブースは、業界日の投票でも準グランプリを受賞しています

ブースグランプリは「瀬戸内」と「北海道」 業界日と一般日の2部門で投票・選出

「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2019 大阪・関西」の最終日となつた10月27日、「TEJ2019 大阪・関西」ブースグランプリの各賞が発表されました。業界日の投票による「旅のプロが選ぶブースグランプリ」と一般日の投票による「旅の愛好者が選ぶブースグランプリ」の2部門で選出されています。

【旅のプロが選ぶブースグランプリ】

- グランプリ=ワンドフル セトウチ／DISCOVER WEST 連携協議会
- 準グランプリ=北海道観光振興機構／JR北海道
- 特別賞=キューバ観光省
- 実行委員長賞=韓国観光公社

【旅の愛好家が選ぶブースグランプリ】

- グランプリ=北海道観光振興機構／JR北海道
- 準グランプリ=ワンドフル セトウチ／DISCOVER WEST 連携協議会
- 準グランプリ=台湾観光協会
- 特別賞=ウガンダ政府観光局



“Downtown of Japan OSAKA”と銘打たれた大阪観光局のブースには、「町工場のおっちゃん」が教えるクラフト体験コーナーも



会員企業を中心に在阪事業者18社が出展した大阪商工会議所のブース。幅広い産業が観光市場の開拓を目指しています



2025年日本国際博覧会協会のブースは、内外のステークホルダーに大阪・関西万博をPRし、参画機運の醸成を図りました



在阪の鉄道会社7社が共同出展したブースでは、各社の制服を着たマネキンが並ぶフォトスポットが注目を集めました

地元エリアからの小間数は4倍以上 2府4県から多くの出展者が趣向凝らす

初めて東京を離れて開催された「TEJ2019 大阪・関西」では、地元エリアからの出展小間数が4倍以上に拡大。自治体や観光協会、観光施設をはじめ、商工会議所や鉄道会社、2025年大阪・関西万博も参加して、関西2府4県から多くの出展者による趣向を凝らした展示で賑わいました。